



図2 東武鉄道日光線開通当時の幸手町周辺を示す地形図(1934年)
出典:内務省地理調査所発行5万分の1地形図「幸手」
(1934年(昭和9) 要部修正)

松村公明教授
(立教大学観光学部)



松村公明教授の「わたしの宿場町」

幸 手中心市街地は、日光街道の宿場町「幸手宿」を基盤として今に続いています。起点の江戸・日本橋から日光街道を辿ると、千住宿－草加宿－越ヶ谷宿(越谷)－粕壁宿(春日部)－杉戸宿を経て、六番目の宿場町が幸手でした。中心市街地の主軸となる日光街道沿線は、南から右馬之助町、久喜町、仲町、荒宿の4カ町から構成され、街道に面する敷地建物の形状は、間口幅に対して奥行きのある「短冊状地割」を呈しています(図1)。街道から敷地奥の倉庫に商品を運搬するためのトロッコ、通称「横丁鉄道」が活躍してきたのも、街道筋特有の地割のためです。商店街の業種構成は近年変貌してきましたが、注意深く観察すると、幸手は農村地域における物資の集散地・商工業の中心地として繁栄した昭和期の姿が偲ばれます。この点では、生活雑貨や食料品を取り扱う大都市の近隣商店街とは趣を異にしているのです。東武鉄道日光線の開業は1929年(昭和4年)です。旧宿場町の南西はずれに設置された幸手駅も(図2)、昭和期を通してこの町の玄関口として重要な役割を果たしてきました。首都圏はその名のとおり東京への通勤圏として位置づけられ、近郊都市＝ベッドタウンとして一様に見られがちですが、都市の起源や形成過程には多様性があることを、身近なまち歩きを通して発見することができますでしょう。

最後に、幸手市の人口は53,666で、埼玉県内40市のなかで最小となっていることを付け加えておきましょう(2008年10月1日の推計人口による)。東京50km圏に位置しながらも、都市化・中高層化の荒波を免れて、昭和の面影を今に残すささやかなまちがここにあります。表通りの街道筋から横丁や裏町へと気の向くままに足を運んでみられてはいかがでしょうか。



横丁鉄道(永文商店)

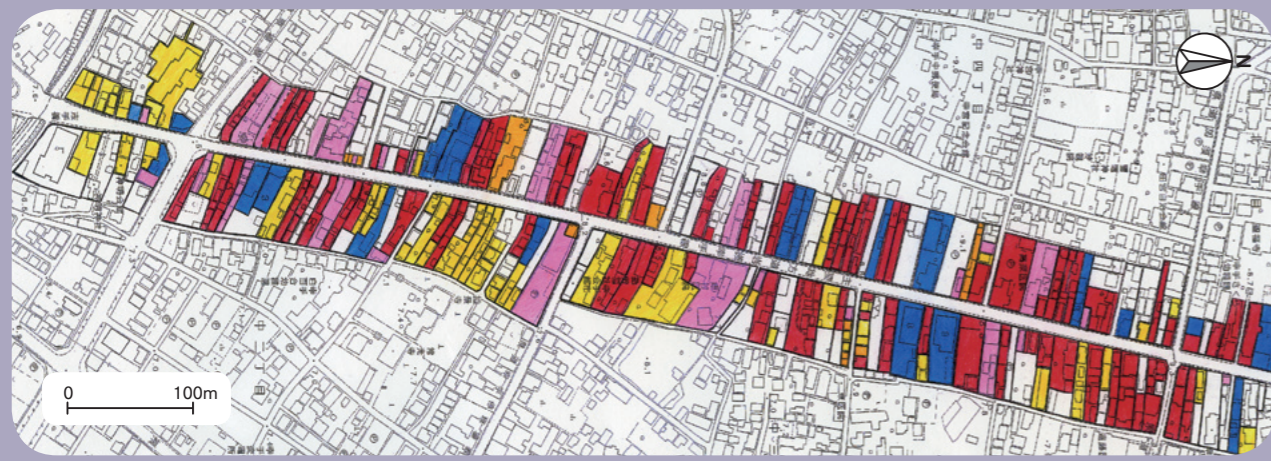


図1 旧日光街道沿線のおもな土地利用(2008年) 基図:幸手市発行2,500分の1「幸手市地形図12」(2002年測量)

武蔵野銀行 + 立教大学観光学部 「幸手まち歩きプロジェクト」



歴史を感じる街道筋 江戸と昭和に会える街

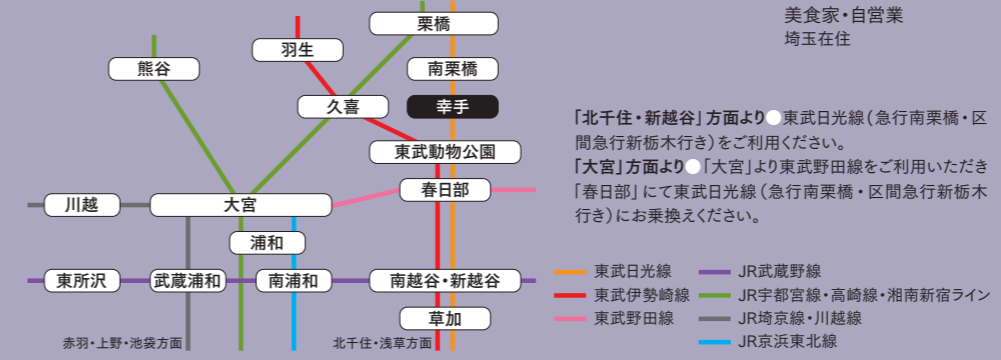


江戸時代の地割が今に残る日光街道の町並には、昭和の面影を残すレトロな雰囲気漂います。そんな昔ながらの商店街の中には、化粧品店やブティックなど、実はおしゃれなお店がいっぱいあるんです。しかも、焼かりんとうや塩あんびん、塩がま、桜アイスなど、都会ではお目にかかれないローカルなグルメもたくさん。優しくて人懐っこい店員さんとの交流から、幸手の新たな一面を発見できるかも。おいしいもの巡りに、裏道散策、楽しみ方は無限大。歩けば歩くほど、幸手の魅力に出会えます。地図にはそれぞれの趣に合わせたキャラクターを案内役として用意しました。彼らのルートを参考にあなただけのお気に入りを見つけに行きましょう。



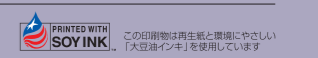
まっきー
牧原元、56歳、
美食家・自営業
埼玉在住

いがさん
五十嵐太郎、45歳、
サラリーマン
東京在住



埼玉 地域交流フットパスプロジェクト
このプロジェクトは、武蔵野銀行の支援を受けて立教大学観光学部の学生が埼玉県の町を調査し、多世代にわたる人々が観光交流を通じて充実した生活を送ることができる旅の新しい楽しみ方を創造する事業です。県東部のJR線、東武鉄道、秩父鉄道の沿線から比較的歴史のある町を選定して、町を散策するまち歩き地図を作成し、域内交流を促進します。
幸手市は日光街道の6番目の宿場町として栄え、今でも特に「昭和」の面影を伝える懐かしい町並が広がっています。そこで、プロジェクトの第1回目として、幸手市市街地の旧日光街道沿いを中心に調査し、まち歩き地図を作成しました。

まち歩きの際は、履き慣れた靴を選ぶなど、歩きやすい格好でどうぞ。リュックサックやポシェットなどの鞆は両手が自由になるのでお勧めです。また、休憩や水分をとるのを忘れないようにしましょう。車などに注意し、各自責任を持ってまち歩きを楽しんで下さい。



歴史を感じる 街道筋

江戸と昭和に会える街

幸手の商店街は江戸時代の日光街道を起源としているため、昭和時代も中心商店街として栄えました。しかし、近年バイパス沿いに大型店が進出したため、時代に取り残される結果になってしまいました。しかし、それが昭和的な町並の維持につながったのです。昔ながらの建築物や昭和的な商家の店先、また昭和を感じることができる雰囲気は中高年の人たちにとっては昔懐かしい良い経験ができることでしょう。

いがさん
五十嵐太郎、45歳、サラリーマン
東京在住
銀行員。最近妻の影響で韓流ドラマにはまっている。



いがさんの 歴史探訪コース

幸手は江戸から平成に至るまでの建築が混在する街です。中でも旧日光街道沿いは、昭和を感じさせる建築物が多く、街を歩きながらキョロキョロ周りを見渡してみると、昭和の町並が浮かび上がってくるような気さえます。歴史好きないがさんと一緒に懐かしい町並を探してみましょう。

1. あさよろず

創業二百年を数えた由緒正しき旅館は、宿場街の旅館の姿を今に伝える貴重な建物だ。今ではモダンな外観だが、かつては明治天皇の巡行の際の宿泊施設の一つになっていたりと、非常に歴史ある旅館なんだよ。



Tel / 0480-42-0004
http://www.satte-asayorozu.com/index.html

2. 田螺不動尊(たにしふどうそん)

ここが伊勢皇太神宮の分霊を祀った神明神社だ。境内には田螺不動尊とも呼ばれている菅谷不動尊が安置されていて、眼病の人が田螺を描いた絵馬を奉納し祈願すると病が治ると言われているんだ。



3. ハッピーハンドレリーフ

「幸手」の名前にちなみ、その年日本一幸せだと思われる男女一名を選出し、その人の手形をこの歩道に展示しているぞ。君の知っているひとの手形は見つかるかな？



4. 永文商店

とても趣のあるお店だね。ここは横丁鉄道の面影を残す酒屋さん。横丁鉄道とは、短冊形の地割に沿った家を持つ街道筋の商家の工夫で、家の中にレールを敷き、重い荷物の移動を行っていたとか。



Tel / 0480-42-0035
http://www.eibun.co.jp/eibunstore.html

5. 芭蕉の碑

芭蕉もここを通過していたそう！正面には聖福寺が。芭蕉ゆかりの石碑が鎮座しているぞ。私も仕事を忘れて句の世界にひたってみようかな。



5. 石太菓子店(塩がま)

みなさんご存じ幸手名物！石太で270円。甘すぎなくてお茶請けにぴったりだ。妻へのお土産にひとつ買って帰ろうかな？
Tel / 0480-42-0052



日光街道



明治天皇行在所跡



歴史掲示板



蔵

幸手にはなつかしいポイントがたくさんあります。あなただけのレトロスポットをみつけてみましょう。

グルメブログ更新!



まっきー
牧原元、56歳、美食家・自営業
埼玉在住
B級グルメを探してはブログで紹介するのが趣味な美食家。

まっきーのグルメコース

幸手の街にはおいしいものがたくさん。食べて歩いて食べて歩いて帰る頃にはお腹もいっぱい。お腹が痛くならないようにゆっくりゆっくり歩くのがコツかもしれません。一緒に歩く人と分け合うのもまた楽しいかも知れませんね。まっきーの紹介しているお店以外にも発見があるかも？あなたのお気に入りは何ですか？

1. 手打ちそば更科

駅前通りにあるおそば屋さん。お店で手打ちされた蕎麦はのど越しがよくていくらでも食べられそう。メニューも充実しているぞ。
Tel / 0480-42-0424



2. 河内屋商店

プロパンガスなどを取り扱う燃料店。飲食店もいけれど、幸手市民の生活が窺える店もたくさんあるんだなあ。プロパンガスを積んだトラックを見られたらラッキーじゃ☆
Tel / 0480-42-0344



3. ベークショップまきしま

どのパンも美味しいが、サンドイッチは特に美味しい！1度お試しあれ!!懐かしい感じのするパン屋さんだ。
Tel / 0480-43-0691



4. 水屋製麺(株)

販売専門の製麺所。うどんの他にも焼きそば、ラーメンなど豊富に取り揃えているので、全ての麺好きに訪れていただきたい一軒じゃ。
営業時間 / 9:00 ~ 17:00
定休日 / 水曜・日曜 Tel / 0480-42-0259

